

全身麻酔下で乳癌外科手術を受けられる患者の早期加温方法による体温保持の試み

本研究は京都田辺中央病院倫理審査委員会の承認を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

全身麻酔下で手術を受けられる患者さんは、麻酔薬の影響により体温調節機能が抑制され、手術開始までに深部体温が低下しやすいことが知られています。

本研究では、従来法の方法（清潔ドレープ後に加温開始）と比較して、麻酔導入直後から加温を開始する「早期加温」の有効性を検討し、周術期における体温保持方法の改善を目的とします。

研究の方法

- ・ 研究の対象となる方

当院において、2024 年 11 月から 2026 年 3 月までに全身麻酔下で乳癌外科手術を受けられた方。

- ・ 研究期間

倫理審査委員会承認後から 2025 年 3 月 31 日

- ・ 方法

当院において乳癌外科手術を受けられた方で、診療録（麻酔記録）より以下の情報取得し、従来法群と早期加温群で比較します。

- ・ 利用させていただくカルテ情報

- ①入室時体温

- ②執刀開始時体温

個人情報の取り扱いについて

取得するデータから氏名・生年月日などの個人が特定できる情報は削除し、研究用番号を付して管理します。

データと対応表は厳重に管理し、第三者が閲覧できないように管理します。

研究成果を学会や論文で発表する場合も、患者さん個人が特定されることはありません。

お問い合わせ先

本研究にご自身の診療情報を使用されることを望まれない場合は、2026 年 3 月までに下記までお申し出ください。その場合でも、診療に不利益が生じることはありません。

京都田辺中央病院

手術室看護師長 海道麻有子

電話番号：0774-63-1111（平日 9：00～17：00）